指導上の注意点

●二四五ページ

問 **「しばらくじっと見ていると、」（上 18 行目）から続く部分にはどのような表現効果があるか。**

答 「わかった」「らしい」「なのだった」と、認識、懐疑、断定へと表現が変化することで、人魚を見たときの驚きを段階的に表わす効果。

補 驚きと同時に魅了されていく様子が効果的に描かれている。

語句の研究

●二四四ページ

上 18 何かの匂いがした。　この段階でもまだこの匂いが人魚のものであるとは明かされておらず、読者の興味を引きつける。

上 20 画架　絵を描く時にカンバスや画板を支える台。イーゼル。

下 7 少し痩せたか。　以前に比べ痩せていると「わたし」感じているのであり、エノモトさんの元来の容姿に関することではない。痩せたのは人魚に執着するが故であろう。

下 8 エノモトさん、元気だった？　と聞くと、　「わたし」の台詞には引用符（「　」）がついていない。一人称語りが地の文と溶け合うように作品が成立している。「わたし」からの視点であることの強調、文章のリズムを良くすること、エノモトさんへの発話が読者にも向けられているように感じられ物語世界に引き込まれるような効果などがある。

下 9 眉をよせながら　不快や憂いの念などから眉の寄ったような表情をすること。眉をひそめる。ここでは話の腰を折られたように思った不愉快を示す。

●二四五ページ

キー・ポイント　まぐろよりは小さく、鯛よりは大きい。　まぐろの全長は約二～三メートル。鯛の全長は約五十センチメートル。後に「人間の大人の三分の一ほどの大きさ」（二四五・下 3）とあるように、ここでは具体的な大きさを示すというより、魚との比較をあえてする表現。また、この後に詳細な記述が続くが、登場人物とは対照的に、人魚について一定の外見イメージを読者が想像することになる。人魚を想像するときアニメや漫画的な表現をイメージしがちだが、非現実的な存在であるからこそ外見の特徴を丹念に描きリアルで具体的なイメージを持つことができる。あくまで現実世界で起きる出来事なのであり、ただのファンタジーとは違う絶妙なバランスの物語世界になっている。

注意する語句

もったいぶる…いかにも重々しくおおげさにふるまう。（＊で用例を示した）

＊彼は昨夜の出来事をもったいぶって話し出さない。